



き また よう じ
木 全 瑛 二

生年月 1987年10月愛知県生まれ
最終学歴 2012年名古屋工業大学大学院工学研究科社会学専攻博士前期課程修了
業務経歴 2012年(株)竹中工務店入社
現在大阪本店設計部主任

●担当した主なプロジェクト
2014年 竹中大工道具館新館(現場管理)
2017年 南海和歌山市駅ビル
2019年 南海和歌山市駅駅舎・コンコース
2019年 大丸心齋橋本店館
2020年 心齋橋PARCO
2021年～三ノ宮駅ビル

■青年技術者のことば

これまで全てのプロジェクトで既存建築の寿命(解体)に直面しました。経済・トレンド・機能の問題など、今の時代の総合的な判断で建築はその運命に遭うのだと思いますが、既存建築に蓄積された関係者の想いを感じ、建築設計者としてどうするべきか悩むことが多いです。

その際よりどころにしている思想は「1000年残る建築を目指す」です。これは永続性を持った建築のような物理的な意味だけではなく、既存建築が生きた歴史の流れを止めないよう、未来に残すべき痕跡を発見し、組み換え、その想いを新しいかたちにして次の世代に継承していくことをイメージしています。

建築設計において新しい建築を生み出すだけではなく、その敷地や建築に関わる歴史・文化を未来に向けて少しでも進歩させたいと考えています。そのような意味では今の建築の正解を導いているというより、むしろ未来に向けた問題を組み立てているのかもしれない。

建築設計者として建築の誕生と寿命に向き合える機会があることを当たり前と思わないこと、これまでの数少ない実績に満足して安心してはいけないと感じます。常に新しく覚えることがあるか、と日々、発見や気付きを探し求めながら、これからも都市と建築に向き合っていきます。

■すいせん者

小幡剛也
(株)竹中工務店 大阪本店
設計部 設計第3部門 部長



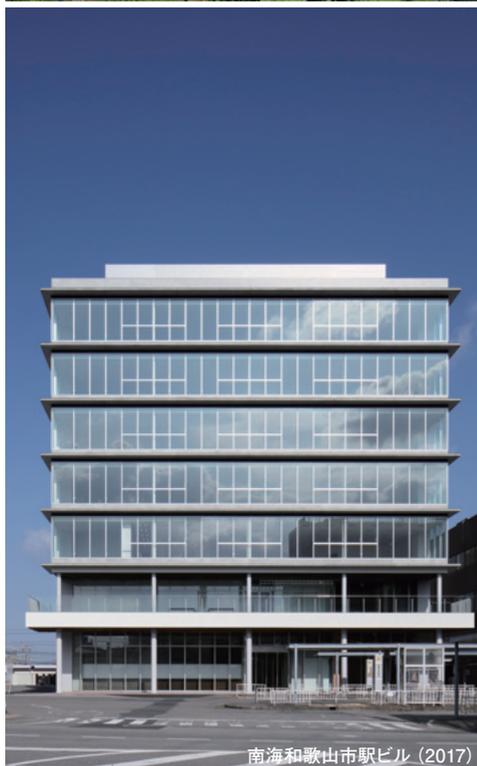
御堂筋の夜景を彩る大丸心齋橋本店館と心齋橋PARCO



大丸心齋橋本店館から心齋橋PARCOをみる



大丸心齋橋本店館(2019, 写真右)と心齋橋PARCO(2020, 写真左)



南海和歌山市駅ビル(2017)



南海和歌山市駅駅舎・コンコース(2019)



駅前全体計画の共通デザインとなる、紀州杉ルーバーの歩行空間を計画